

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名:リトルグリーンバードおもろまち4丁目

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	個々の様子に応じて集団スペースや個室を使い分けている	
	2	職員の配置数は適切である	3	0	配置基準は満たしているが手厚い療育を進めるため職員の採用を調整している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	季節の飾りを取り入れているが、情報が多くならないように配慮し、児童が集中できるような環境を整えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	5Sを意識し、衛生管理に努めている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	スタッフ間ミーティングを行い振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	評価後に話し合いを行い、改善に取り組んでいる	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	毎月、全スタッフで勉強会を実施している	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	半年に1回は、他事業所、学校、家族との連携を図りながら、支援の見直しを行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	毎日、支援内容を記入し、アセスメントに反映させている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	児童の意見を取り入れるために、毎月児童ミーティングを行いプログラムを立てている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	専門職からのアドバイスをもらったり、他教室のアイデアをもらいながらプログラムを作成している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	3	0	スタッフ間で情報共有を行い作成している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	プログラムを確認しながら、時間・役割を調整している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	シフト制による勤務の為、勤務時間外などはメール等を使い情報共有をしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	毎日、支援内容や児童の様子を記入し共有している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	3か月～6か月に一度モニタリングを実施している	
関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	日頃児童に携わっているスタッフが参加している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	学校、相談支援員、主治医等、各専門職と連携している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	0	アレルギーや医療ケアが必要な児童の受け入れ時は、全スタッフで研修を実施している	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	0	現在、受け入れはないが、受け入れる場合は、主治医と連携を図り指導を受けている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	送迎時やモニタリング、電話等で情報共有を行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	就学を迎える児童は、学校へ出向き引継ぎや情報共有を行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	児童が通っている他の事業所と連携し、情報共有している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している	2	1	情報が入ってきた際は参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	連絡帳や家庭連携を通しニーズを聞き、共通理解を図っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	2	保護者に対してのプログラムは行っていない	保護者会を開催し専門員との繋がりを持たせ意見交換等を行っている
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	計画書作成時は、児童の現状を中間評価とともに計画案を説明し同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	モニタリングを開催したり、随時相談には対応している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	教室内で、保護者の交流会を行い、意見交換を行った	コロナの状況を見て、リトル全体での保護者会も検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	記録として残し、事業所全体に周知、対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	毎月リトルだよりを発行し、文章や写真で情報を発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0		
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	相談支援員など、第三者も含めて情報を発信している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	事業所と同じ建物2階の会社の社員さんと定期的に交流を図っている	コロナの状況を見て、交流を増やしていきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	定期的に各災害の避難訓練を行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	児童の主治医から直接研修・指導を受け、緊急時にも対応できるような体制をとっている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	ヒヤリハット報告書を作成し、毎月の全体会議で共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	虐待防止委員会を設置し、半年に1回研修を受けている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名:リトルグリーンバードおもろまち4丁目

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	0	個々の状況に応じて、集団スペースや個室をい使い分けている	
	2	職員の配置数は適切である	3	0	0	配置基準は満たしているが手厚い療育を進めるため職員の採用を調整している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	0	スタッフ間ミーティングを行い振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	0	評価後に話し合いを行い、改善に取り組んでいる	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	0	毎月、全スタッフで勉強会を実施している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0	半年に1回は、他事業所、学校、家族との連携を図りながら、支援の見直しを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	0	児童の意見を取り入れるために、毎月児童ミーティングを行いプログラムを立てている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	0	専門職からのアドバイスをもらったり、他教室のアイデアをもらいながらプログラムを作成している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	0	療育目的に沿って外出行事を計画し実行している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0	スタッフ間で情報共有しながら作成している	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	0	プログラムを確認しながら、時間・役割を調整している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	0	シフト制による勤務の為、勤務時間外などはメール等を使い情報共有をしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0	毎日、支援内容や児童の様子を記入し共有している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	0	3か月～6か月に一度モニタリングを実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	0	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	0	日頃児童に携わっているスタッフが参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	0	0	学校からの情報(プリントや掲示板)をスタッフ間でも共有し、また担任とも下校時間の確認を細目に行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	0	0	主治医と連携を図り、直接指導を受けている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	0	対象の児童はまだいないが、移行する際は情報提供を行っていく	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	0	児童が通っている他の事業所と連携し、情報共有している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	0	近隣公園に行った際、障がいのない子どもはいるが、一緒に活動する機会はない	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	0	情報が入ってきた際は参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	0	連絡帳や家庭連携を通しニーズを聞き、共通理解を図っている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	3	0	保護者に対してのプログラムは行っていない	保護者会を開催し専門員との繋がりを持たせ意見交換等を行っている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	0	保護者会を実施し交流の場を設けた	保護者同士の連携に繋がるように、定期的に関催できるよう検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	0	苦情等あれば、スタッフ間、上司へ直ぐに報告し、しかるべき対応を取っている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	0	毎月リトルだよりを発行し、文章や写真で情報を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	3	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	0	ボディランゲージ、視覚優位の児童との関わりに工夫しながら対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	0	事業所と同じ建物2階の会社の社員さんと定期的に交流を図っている	コロナの状況を見て、交流を増やしていきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0	0	マニュアル冊子を作成し、対応できるようにしている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	0	定期的に各災害の避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	0	虐待防止委員会を設置し、半年に1回研修を受けている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	3	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	0	児童の主治医から直接研修・指導を受け、緊急時にも対応できるような体制をとっている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	0		

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 リトルグリーンバードおもろまち4丁目 保護者等数(児童数) 3 回収数 3 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2	1	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	1	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3	0	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	1	0		
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2	0	1	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2	0	1	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2	1	0	0		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	0	0	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	0	0	2		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3	0	0	0		
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2	0	0	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3	0	0	0		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	3	0	0	0		
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	0	0	0		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3	0	0	0		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	3	0	0	0	ママのお迎えよりも嬉しい様です	これからも子供たちが楽しめるように努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足している	3	0	0	0	私と子供には合ってます。いつも感謝です	こちらこそ活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 リトルグリーンバードおもろまち4丁目

保護者等数(児童数)10人 回収数9人 割合90 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7	2	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	4	1	一般の児童との交流はないようだが、系列の教室の子と交流があるようで満足している	今後コロナ感染症等の状況を見て交流する機会を設けていきたいと 思います。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	1	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	0		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0		
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	9	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	0	0		
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	0		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7	2	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	8	1	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。